市民協広報第21号

令和2年12月1日　（1）

山滝

山滝校区	世帯数	男	女	計
大沢町	201	201	233	434
内畑町	622	729	746	1,475

令和2年10月1日現在
（岸和田市役所HPによる）

発行所　山滝地区市民協議会
発行者　大植　亮
編集者　広報部会
編集責任者　保米本　一郎

ごあいさつ

山滝地区市民協議会
（山滝連合町会長）
会長　大植　亮

平素は町会及び各部会の市民協議会活動に、ご協力ご理解いただきありがとうございます。今年は新しいウイルスの出現に世界中がパニック状態になり、私たちも厳しい制約の中で不自由な生活を余儀なくされています。しかし、人間はたいしたもので、やがてワクチン開発により近いうちに終息に向かうようになるでしょう。それはそれでいいのですが、何故こういう事態に陥ったのでしょうか。私見ですが、21世紀に突入したにも関わらず、世界中では相変わらず領土問題、環境問題、人権問題、核問題、内紛等々解決されないどころか益々エスカレートしているのが現状ではありませんか。

これが広大な宇宙の中の芥子粒より小さな地球の中で繰り広げられているのです。人間のエゴ（利益追求）に起因する愚かな結果ではありませんか。私は趣味の読書で、あらゆるジャンルの本を読んでいます。最近ある事を感じ取ることができました。それは宗教家だけでなく各分野の指導者や世に言われる成功者に共通して言えることは、自分のことより相手が喜ぶ行動を取っているということです。代償を求めず人の為に行う行為が結局、自分自身を守り、輝かせ、取り巻く環境も安寧社会へと変えて行けるのではないでしょうか。

一人ひとりの行動の連鎖がやがて平和社会実現に向けての一歩だと思います。この新型コロナウイルス出現はそんな人類に対する宇宙からの警鐘のような気がします。この先、何が私たちの前に立ちはだかり困難に直面する事態に陥るかわかりませんが、全て乗り越えなければなりません。

山滝地区の皆様、私の考えに賛同してくださるならば、人が喜ぶ行動（思い）を心掛け、身近なところから始めようではありませんか。

安全・安心なまち 山滝地区を目指して

大沢町駐在所

久保　俊介

平素より地域の皆様には、駐在所並びに警察活動にご理解とご協力いただき、誠に有り難うございます。

まず、大沢町の治安面ですが、目立った犯罪発生は無く平穏を推移しております。しかしながら、大沢町内において金銭の被害は無くとも、オレオレ詐欺等の特殊詐欺の電話が掛かってきたとの報告もあり、いつ被害が発生してもおかしくない状況でもあります。この詐欺の手口は多種多様で、家族、警察、役所、知名度の高い会社等を装い、言葉巧みに金銭をだまし取ります。すべての手口を理解し、個人で詐欺かどうか判断をするのは難い現状から、まずは、誰か（警察、家族等）に相談し、ひとりで行動することの無いようお願い申し上げます。

また、近年の豪雨の現状は我々の想像を超えるものがあり、山間部である山滝地区においては、特に土砂災害が懸念されます。私どもとしましては、災害発生に対して万全に備え警察組織一丸となって、皆様の安全の確保に努める所存でありますが、皆様も、自身の安全を第一に考え、移動（避難）が可能な状況であるうちに、市役所が開設する避難所や別居親族宅などへ避難を実施していただくようお願い申し上げます。

最後になりますが、今後とも、内畑駐在所と連携を密にし、山滝地区の安全のために職務を全うしていく所存でありますので、引き続き警察活動にご協力のほど、よろしくお願いします。

内畑町駐在所

玉城　元気

平素より地域の皆様には内畑駐在所の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、内畑町内において、依然として特殊詐欺と思われる不審な電話が多数かかってきています。

次の内容の電話がかかってきた場合には注意が必要です。

●息子を名乗り「電話番号が変わった」「お金が必要」等との電話

この様な場合には、一度電話を切断し、息子さんに電話をかけ直して確認をして下さい。（その際に「電話番号が変わった」等と言われても、必ず息子さんが以前から使っている電話番号にかけるようにしてください。）

●警察官を名乗り「犯人の名簿に名前がある」「キャッシュカードが悪用されている」との電話

●市役所職員を名乗り「還付金がある」「年金の未払い分がある」「高額医療費の払い戻しがある」等との電話

この様な場合には、一度電話を切断し、警察や家族、知人に相談してください。

そして、被害に遭わないために「現金・キャッシュカード」を「振り込まない・送らない・手渡さない」を守り、「暗証番号は絶対に教えない」ようにしてください。

また、ご家族の方も「自分の親は大丈夫」と油断せず「こまめに連絡をとる」「合い言葉を決める」「防犯機能付きの電話機に変更する」等被害に遭わないように努めてください。

これからも、大沢町駐在所と連携し、安全安心な山滝地区の実現に向けて邁進していきますので、ご協力をよろしくお願いします。

山滝小学校・幼稚園

校園長
池辺　由美

ごあいさつ

山滝校区の皆様には、小学校・幼稚園の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

四月に転勤してまいりました、校園長の池辺由美です。今年度はコロナ禍の下、校区の皆様にご挨拶をさせていただく機会もないままに過ぎてしまいました。申し訳ございません。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式もできないまま臨時休業が続き、六月からようやく本格的に教育活動が再開されています。小学校は九十四名の児童、幼稚園は十二名の園児とともにスタートしました。

校園の様々な行事が中止や、縮小になっていますが、少しでも子どもたちが楽しく笑顔で学校生活が送れるようにと考え、工夫をしながら取り組んでおります。また、夏休みや冬休みの短縮、行事の精選などで、授業時数の確保はできておりますのでご安心ください。

地域のボランティアの皆様や老人会の皆様には、例年、教育活動に参加していただきご指導をいただいておりましたが、今年度は一部を除きご遠慮いただくことになり、大変心苦しく思っております。

創立一四八年という歴史のある学校の伝統を絶やさないよう、感染予防を徹底させながら、職員一同教育活動に取り組んでまいります。今後ともご指導いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

山滝中学校

校長
瀧　俊彰

山滝中学校の体育祭

今年度はコロナウイルス感染症の影響で各学校では行事については中止または形を変えて縮小して取り組むという状況にあります。そのような中で九月二十八日、雨で一日順延されましたが絶好のコンディションのもとで体育祭が実施できたことをうれしく思います。今年の体育祭は種目を減らして時間を短縮した形で実施しました。「蜜を避けること」「こまめに手洗い、消毒すること」「観覧席ではマスクを着用して応援すること」などの感染症対策をとりながらの進行でした。また、本来ならば来賓の皆様、地域の皆様にも生徒たちの頑張る姿を見ていただくのが本義でありますが、感染拡大防止の観点から本年度に限り保護者のみの入場と制限いたしました。

山滝中学校の体育祭の種目の中で最も注目されるのが全校生徒で取り組んだ「南中ソーラン」であります。三年生が中心となり、縦割り活動を利用して長い時間かけて練習してきました。「山滝中学校だからできる、山滝中学校でしかできない」演技であります。当日、演技前に全校生徒が円陣を組み、練習で何度もチェックした点を再度確認しました。その後、赤組・白組の団長、生徒会長が全員に思いを語り気合を入れて演技に臨みました。本番では全員が精一杯演技し、全校生徒のまとまりを披露してくれました。演技が終わった後の生徒たちの顔は達成感に満ち溢れるものでした。三年生の皆さんご苦労様でした。来年度は現二年生が下級生を引っ張り山滝中学校の伝統を脈々と引き継いでくれるものと確信しています。

近畿大学泉州高等学校

校長　牧本　英男

地域の一員として

平素より本校生徒がお世話になり、感謝申し上げます。また普段から通学バスの通行によってご不便をおかけする場合があると存じます。

本校の年間行事の中で、文化祭や体育祭、また落語を中心とする芸術鑑賞会では広く市民の皆様がご来校下さって本校生徒と交流して頂いております。

しかし今年は感染症のために多くの学校行事が変更されました。また生徒も参加を認められている祭礼や清掃活動、また老人会での交流も縮小や延期されると聞き、残念に思います。

最近生徒には、むやみに感染症を恐れずに、手洗いなどの普段の対応を確実に行うように伝えています。また、この時期にこそ、国や社会に感染症に対する対応をしっかりと見て欲しいと強調しています。なぜならば今の高校生はあと数年で社会に進んで、役所の窓口や企業の総務部門でまた商店の接客係として感染の拡大を防止すると同時に経済活動を進めて行く一員となることは間違いがないからです。その時に進んで対応できる自主性や協調性を高校生の間に養って欲しいと指示しています。

本校生徒は大学進学希望者が多くを占めますが、専門学校進学者を含めて、医療関係の専門に進む生徒が多く、また在学中から広く公務員を目指す生徒も少なくありません。他者を助ける意識の高いこの生徒たちが、この地域の一員として戻ってきて、今後の日本の安全性を高め、安心感を与えてくれることを期待します。

令和2年度 山滝地区市民協議会役員

会長	大植　亮	（山滝連合町会長）
副会長	矢野　二郎	（上大沢町会長）
〃	西野　康男	（下大沢町会長）
〃	松本　正憲	（牛滝町会長）
〃	大植　龍生	（辻堂町会長）
〃	藤原　克陽	（西堂町会長）
〃	大務　恒雄	（沢峰町会長）
〃	清井　忠重	（下出町会長）
環境部会長	辻　浩次	（下出町副会長）
青少年部会長	大植　繁樹	（辻堂町副会長）
文化体育部会長	白草　俊隆	（西堂町副会長）
広報部会長	保米本一郎	（上大沢町副会長）
人権啓発部会長	辻　浩次	（下出町副会長）
福祉部会長	赤坂　芳希	（山口町副会長）
事務局長	溝端　悦規	（上大沢）
副事務局長	藤原　和義	（辻堂）
〃	井出　正史	（西堂）
〃	北川　清彰	（下出）
会計	東　政彰	（沢峰）
会計監査	藤原　克陽	（西堂）
〃	大植　龍生	（辻堂）
書記	長尾　光浩	（下大沢）
〃	松本　昌治	（山口）

お知らせ

※令和3年新春山滝地区市民マラソンの開催について

例年開催の「新春山滝地区市民マラソン」については、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

編集後記

令和2年度市民協広報「山滝」は新型コロナウイルスの影響で紙面を縮小して編集いたしました。ご了承ください。

山滝地区の皆様方におかれましては、今後とも市民協活動にご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。